



一般社団法人日本機械学会
2018年度年次大会
市民フォーラム

宇宙工学部門企画

宇宙サロン

参加
無料

広がる小型衛星， 身近になる宇宙

事前申し込みは不要です。
詳細は年次大会ウェブサイトをご参照ください。

© Axelspace Corporation

9 / 9
2018 日

開演 14:00~16:10

会場

関西大学千里山キャンパス
第4学舎4号館2階 4202教室

年次大会情報

ウェブサイト <https://www.jsme.or.jp/conference/nenji2018/>

お問い合わせ 日本機械学会 2018年度年次大会 実行委員会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
関西大学システム理工学部機械工学科内

E-mail jsme2018-event@cm.kansai-u.ac.jp

アクセスMAP

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

関西大学千里山キャンパス
〒564-8680 吹田市山手町 3-3-35

- インフォメーション
- 食堂・レストラン
- ショップ

至：千里山駅



第4学舎4号館
市民フォーラム
宇宙工学部門会場

誰もが宇宙を目指し、関わり、利用することができる時代へー研究中心だった人工衛星の時代から、人工衛星を利用した新しいビジネスやサービス、エンターテインメントなどがあふれる新時代を、今まさに迎えようとしています。その人工衛星の新時代を象徴する2つの講演をご用意しました。ぜひ、お越しください。

宇宙工学部門第一企画委員長・山縣雅紀(関西大学化学学生命工学部)

株式会社アクセルスペース・代表取締役

中村友哉

講演1

超小型人工衛星が切り拓く新しい宇宙利用

宇宙は長い間、その高いコストとリスクから国家のみが活動を行うことのできるフィールドであった。それがここ10年ほどで「ニュースペース」と呼ばれる新興ベンチャー企業の参入が各国で相次ぎ、宇宙業界の様相が大きく変わりつつある。有人宇宙機の開発により民間宇宙旅行が実現間近である他、小型のロケット・人工衛星の開発が進み、宇宙利用にかかるコストが劇的に低減されつつある。本講演では、日本の宇宙ベンチャーの一つであり、超小型衛星による全地球観測プラットフォームの構築を進めるアクセルスペースの取り組みを紹介する。

講演2

市民衛星「関ヶ原プロジェクト」を核とした宇宙産業新興

代表講演者

田代大門

Space BD株式会社
事業開発マネージャー

市民衛星関ヶ原プロジェクトは、一般市民が主体となって取り組む衛星開発」の活性化を推し進めることで、宇宙産業の裾野拡大、地域活性化、次世代人材育成に資することを目的として、Space BD株式会社が2018年4月に立ち上げたプロジェクトです。東軍リーマンサット・プロジェクト、西軍ドリームサテライトプロジェクトの各軍が主体となって取り組んでいる10cm立方サイズの「超小型衛星(キューブサット)」の打上げをコンペティション化。本講演では、関ヶ原プロジェクトの活動及び両軍の衛星開発活動の紹介を通して、市民衛星プロジェクトの可能性とビジョン、またその実現に向けた技術面等の課題についてお話しします。

rsp リーマンサット
プロジェクト



関ヶ原プロジェクト
SEKIGAHARA

produced by SpaceBD

大の大人が
全身全霊をかけて挑む
市民衛星チームの
頂上決戦!

ドリームサテライトプロジェクト
DREAM SATELLITE
~1000人の仲間が打上げる人工衛星~

